

平成26年度山口市美術展覧会講評

大賞

「雨を降らす樹に抱かれる女。」

井岡 義朋



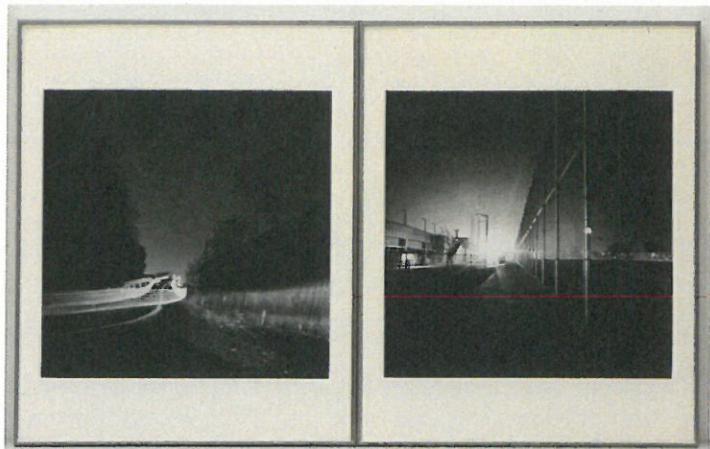
女性がヌードで踏ん反り返っている姿が見えてくる。タイトルを確認すると「雨を降らす樹に抱かれる女。」とある。木々の隙間には雨粒が描かれているのが見えて来て、徐々にこのタイトルが付けられた作品の世界に入り込んでいる自分に気付いた。豊穣を連想させるこの作品が何かの逸話をベースに描かれたものなのか作者オリジナルのものか定かではないが、巨大な画面を縦横無尽に走るストロークと豊かな色彩はゆっくりと、また深く、見る者を作中に捕らえるを感じる。

(原井 輝明)

準大賞

「幻視」

吉見 健太郎



「幻視」と銘打たれた本作（白黒組写真）は作品全体の醸し出すシャープさや装丁・額縁の選び方、写真組の順番、黒の階調の深さなど、写真に関する技術力の高さが確認できるとともに細部まで注意深く構成された力作です。

人気の無い夜のスタジアムや何気ない道路添いがモチーフに選ばれ、闇の彼方から光るライトや通過した車のテール・ライトのような痕跡が人の存在を最低限暗示しています。ただ映っている情景は、冷徹なままでその場所の風景そのものです。そこから醸し出される気配、期待、拒絶、絶望のような感情、これがこの作品がもつ芸術的な魅力なのかなと感じました。

（中野 良寿）

山口市教育委員会賞

「映し出すもの」

土谷 寛子

針仕事や機織は長く女性の仕事としてあり、女性にとって糸や布の持つ意味は大きく深い。本作は、女性の姿を糸と布だけで「絵」にしようという発想、そして、それを工芸ではなく絵画の部門に投じた意気をもって、全出品中、類のない特色を示したものである。女性の髪には刺繡、机身には目のつんだ布、セーターには毛足の長い羊毛をあてるなどといった技法・素材の選択の妙、さらには、鏡に映し出される像に薄い紗で覆いをかけるという細やかな工夫に感嘆するほかない。

（岡本 正康）



山口文化協会賞

「朝焼けの海」

田中 勉



精緻で手間のかかる手仕事が敬遠されがちな現代、素材の真竹の採集から加工、編みこみ、縁と高台に藤を使用、さらに漆で仕上げるなど、気の遠くなるような製作態度にまず感動しました。さらに、製作工程や材料に関するデーターの詳細がこのような展覧会の資料として添付されていることも作者の人柄をしのばせ、好感をもちました。昔の日本人には当たり前だった、このような作品を身近に置いた、美意識が現代に蘇り、市民の日々の生活（たつき）が豊かに営まれるようにと祈ります。

(木本 信昭)

おごおり文化協会賞

「火の柱」

厚見 啓子

木下尚江の代表作「火の柱」の一節となるこの言葉から発せられるエネルギーは、一本の毛筆の躍动感あふれる表現によって観るものを感じさせる。直筆で強く当たった起筆から、スピードに乗って走る送筆、そして内に込めたエネルギーを一気に吐き出す收筆に込め、戦火の大波からまっすぐに伸びる青々とした麦の生命力を表現して潔い。温かく弾力のある線は柔毫筆を自在にこなせる技量なしには現せない。筆者の言葉に込めた熱い想いと確かな技とが見事に表出した力作である。

(有富 由美)



◆ 総評

この度の審査では、洋画部門、日本画部門と分かれていたジャンルを絵画部門に一本化しました。このことで、審査においては先入観をもたずに平面作品である絵画自体を評価することが出来たのではないかと思います。また、この視点は他の部門における専門性に関する評価軸を整理することにもなり、応募された作品はその応募部門に応じた評価を受けることとなりました。そのことで残念ながら落選する作品もでてきましたが、逆に入選作についてはある程度以上の美術的な質が保証できるという体制になったのではないかと思います。

今回の出品作全体については、近年にも増して興味を惹かれる作品のバリエーションがありました。そのため審査においては気になりながらも賞にあげられない作品が多くあり、作者にそのことをお伝えできない歯痒さを感じました。また、出品者については10代から90代まで幅の広い年齢層の参加があり、山口市民の文化に対する造詣の深さを感じられる山口市美術展覧会になったと思います。

(審査委員長 中野 良寿)

(審査員)

有富 由美	山口県立山口高等学校教諭
岡本 正康	下関市立美術館学芸係長
木本 信昭	元下関市立美術館副館長
中野 良寿	山口大学教育学部准教授
原井 輝明	宇部フロンティア大学短期大学部准教授

(五十音順・敬称略)

平成26年度山口市美術展覧会受賞者一覧

(H27.3.4現在)

	賞	部門	ふりがな 作品名	ふりがな 作者氏名	地区	年齢
1	大賞	絵画	あめ ふらすき だおんな。 雨を降らす樹に抱かれる女。	いおか よしとも 井岡 義朋	小郡	72
2	準大賞	写真	げんし 幻視	よしみ けんたろう 吉見 健太郎	白石	64
3	山口市教育委員会賞	絵画	うつ だ 映し出すもの	つちや ひろこ 土谷 寛子	平川	31
4	山口文化協会賞	工芸	あさや うみ 朝焼けの海	たなか つとむ 田中 勉	大歳	64
5	おごおり文化協会賞	書	ひ はしら 火の柱	あつみ けいこ 厚見 啓子	嘉川	54
6	奨励賞	絵画	あつ だいち 熱い台地	やなぎさわ サトシ 柳沢 サトシ	小郡	78
7	"	絵画	うた 歌う	ちば かずこ 千葉 和子	宮野	82
8	"	工芸	せいはくじばち 青白磁鉢	すえなが な お こ 末永 奈緒子	吉敷	37
9	"	デザイン	おくぶん 72億分の2	よろずあーと Yorozaart	秋穂二島	38
10	"	デザイン	こ うさぎとひとやすみ	いとう みなこ 伊藤 美菜子	平川	22
11	審査員特別賞	絵画	あやつ にんぎょう 操り人形	ふじた ともみ 藤田 知美	秋穂二島	27
12	"	絵画	よこむ しょじぞう 横向き少女像のせかい	いしかわ ふみこ 石川 富美子	大歳	78
13	"	絵画	まなざしの先に さき	たけもと たかよし 竹本 高義	大内	64
14	"	絵画	れつ 烈	とくなが かずよ 徳永 和代	鋳銭司	64
15	"	書	わ か よんしや あしひきの和歌四首	くどう しづ 工藤 志津	湯田	41